

# おおきなしぜん！ちいさなしぜん！

## ①まねっこ大好き！

今月は京都御苑で遊びました。木の実を袋いっぱい集めたり、木登りに挑戦したり、朝から元気に動き回る姿が見られました。人数が増えた分、メンバーが生み出す遊びの種類も増えたと感じました。そして、友達から刺激を受け、真似をする事で遊びが広がりました。人気の木登りは、木の前に大行列ができるほどでした。



## ②大きさを調べよう！

広場に移動し、活動タイトルの『大きな自然』を探すゲームが始まりました。木の周りに整列し、「何人分の太さだ！」と数えたり、切り株や岩を見つけると「何人乗れるかな？」と挑戦したり、友達と一緒に体を使って、大きさを測っておられました。中には手のひらだけで上手に測るメンバーもおられ、感心しました。



## ③じっくり見よう！

午後からは『小さな自然』を探す為、虫眼鏡を使い、様々な自然を観察しました。虫眼鏡を手にするだけでテンションが上がっている様子でした。あちこちに歩き回り、タンポポの花や木の模様を見つめていました。「花の中は色が違う！」と発見した事を声に出しながら楽しんでおられました。顔を近づけたり、離したりしながら自分なりに調整する姿も印象的でした。

## ④なんでも挑戦！

後半の自由遊びの時間に「新しい遊びする？」と尋ねると、「やりたい！」と多くのメンバーが集まり、『まねっこゲーム』を楽しみました。何をするかではなく、新しい遊びをみんなでやるという事にワクワクしておられるように感じました。何気ない瞬間でしたが、どんな事にもプラスなイメージを持ち、挑戦する事ができるパワーが素晴らしかったです。



森のくれよんは “自由な発想で遊びを見つけ楽しむ事” を大事に活動していますが、新しい発見をする機会の一つとして、今月はプログラムの中に “自然を見る” という時間を設けました。ほとんどのメンバーが虫眼鏡に興味津々で、普段の何倍もの速さで集合し、自然観察が始まりました。虫眼鏡は観察したい物をじっくり見る必要がある為、その場に立ち止まり、夢中になって目の前の自然を観察しておられました。『静』と『動』を意識した遊びを取り入れながら生活面にも活かしていければと思います。  
(生本 ひろみ)